

日	月	火	水	木	金	土
1	2 休館日	3 ◆ かるがも おはなし会	4 おはなし会	5	6	7
8 世界の絵本展 14日まで	9	10 ◆	11 おはなし会	12	13	14 児童映画会
15	16 休館日	17 ◆	18 おはなし会	19	20	21 おはなし ひろば
22	23	24 ◆	25 おはなし会	26	27	28 一般映画会
29 えいごで おはなし会	30 休館日	開館 9:00～20:00				

イベント情報

●ミニ・ボローニャ・ブックフェア 世界の絵本展●

令和6年度にイタリアのボローニャブックフェア事務局から寄贈された世界の絵本の一部を巡回展示します。

期間…… 6/8(日)～6/14(土)9時～19時
 場所…… 視聴覚室 (出入自由。計数機を押してください)
 注意…… 6/14(土)11時～12時は

「児童映画会」の上映があるので見学できません。



●南仏のゴッホ、孤高の戦い。●

【美術史講座】南仏時代のゴッホ作品を深掘り解説

日時…… 7月6日(日)14時～16時
 対象…… 中学生以上 30名
 講師…… 美術史家 森耕治先生
 受付…… 6月6日(金)スタート
 小茂根図書館ホームページから



小茂根図書館HP

今月の主なお知らせ

最新情報は図書館HP、館内・館外の掲示板をご覧ください

◆かるがもタイム 毎週(火)10:00～12:00

かるがもおはなし会【赤ちゃん～幼児向け】 3日(火)11:00～11:30

おはなし会【幼児～児童向け】 毎週(水)15:00～15:30

おはなしひろば【ストーリーテリング】 21日(土)14:00～

児童向け映画会 14日(土)11:00～

「世界の名作童話2」2000年/約60分

一般向け映画会 28日(土)14:00～

「第三の男」1949年/イギリス/字幕/104分



イベント

①世界の絵本展 6/8(日)～6/14(日)

②えいごでおはなし会 6/29(日)14時から

令和7年6月発行板橋区立小茂根図書館
 〒173-0037 板橋区小茂根1-6-2 電話：03-3554-8801 指定管理者 シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

図書館を使い倒せ！

イベント申込方法が変わります



インターネットからイベントの参加申込ができるようになりました。

まず、小茂根図書館のホームページを開いてください。

各【イベント告知】のページに進みます。



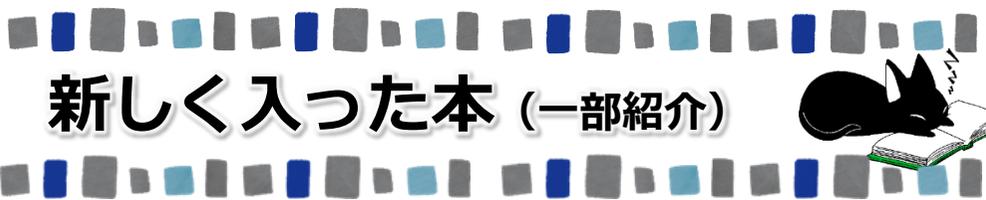
日時や内容紹介の下のカレンダーの開催日をクリックすると、申込フォームに移ります。

必要事項を記入して、注意事項を読んで同意するにチェックを入れてください。

その下の「予約する」ボタンを押していただければ、予約完了です。

カンタンですね。

※カレンダーの日付が×のときは満員で受付終了しています。



新しく入った本 (一部紹介)



書名	著者名	出版社	分類
死神短歌 5分間ノンストップショートストーリー	神戸 遙真	PHP研究所	91㊦
人は三十一文字に想いをこめて、歌にする。魂は消えても、文字は、歌は、のちの世に残りつづける。さあ、消えゆく魂に、とっておきの歌を贈ろう。1話5分で読める、短歌にまつわるショートショート全10篇を収録。			
13歳からのメンタルヘルス “たった1人の自分”を大切に	林 恭弘	総合法令出版	Y14
友だちは多いほうがいいのか。自分のことが好きになれない。SNSのいじめが怖い。どうしたら人生は楽しくなるのか…。中学生～大人の心のモヤモヤを、心理カウンセラーが解消する。			
プロの小説家が教える 歴史作家の㊦ネタ帳	木下昌輝	双葉社	210.04
人造人間は平安時代に造られていた？ 織田信長はオヤジギャグの使い手？ 4度の直木賞候補作を世に送り出した歴史作家・木下昌輝が、アイデアの根源やネタとなった意外な史料を紹介する。『週刊大衆』連載から抽出、改稿。			

(内容紹介は、TRC MARCより抜粋)

企画展示ピックアップ

毎月テーマを替えて、館内の各所での本の展示をしています。ぜひチェックしてみてください。

一般	食育	6/3 ～6/29	児童	家族	6/3 ～6/29
YA	水にまつわる お話	6/3 ～6/29	家読	室内あそび	後半



妖怪博士のいる図書館

しちほだ七步蛇



赤い鱗に龍のような四肢と耳を持つ、手のひらサイズの蛇、それが七步蛇じゃ。名前の由来はその強い毒性から来ておつてな。「噛まれたら最期、七步も行かぬうちに死んでしまふ」のだそうじゃ。今よりも自然と密接だった時代、毒蛇は身近な脅威のひとつだったのじゃろう。

モデルとされているのは、台湾で百步蛇と呼ばれる実在の蛇じゃ。姿かたちは似つかぬが、「百歩も行かぬうちに」という由来をもつところなどそっくりじゃな。ちなみに中国では、同じ蛇を五步蛇と呼ぶこともあるそうじゃ。中国の方が大げさじゃの。

妖怪検定公式サイトにて「妖怪博士のいる図書館」として紹介されています！